



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】 TEL22-7912
【小林商工会議所】 TEL23-4121

子どもたちによる地域貢献や地域活性化の話題をこれまでも取り上げてきました。その中には、地域の為に直接行う活動があれば、地域住民が満足感を得ることで、間接的に地域に役立ったと言えるものも少なくありません。地域学校協働活動のひとつ一つを、学校と地域それぞれの視点で見つめ直すと、成果と課題の違った側面が見えてくることでしょう。

今年度も実践記録集を発行します。小林市の今後に繋がる学校からの情報を楽しみにしています。

紙屋中 高妻神社の清掃活動

1・3年生


ほぜ祭りの前日、1・3年生25名と先生方が神社の清掃をしました。(2年生は職場体験学習)。境内と階段の落ち葉掃きや、拝殿と社務所の拭き掃除などを1時間ほどかけて行い、最後に全員が参拝して活動を終わりました。毎年、ほぜ祭りの前に行っています。

【生徒代表】 みんなで協力してきれいになったので、ほぜ祭りが盛り上がってほしいです。

紙屋小 城攻め踊りの奉納

4・5・6年生


高妻神社のほぜ祭りです。子どもたちは学校から神社までの約1キロを鉦と太鼓を鳴らして歩き、神事の後、踊りを奉納しました。

紙屋小の4年生以上は、保存会(手塚会長)の指導で、城攻め踊りの継承活動を行っており、運動会とほぜ祭りで披露しています。

三松中 花壇植栽活動

1年生


国道268号線
沿い(ホームセン
ターやまさき前)

小林土木事務所と造園組合の皆さんの協力で15年続いています。1年生80名が、1時間ほどかけてパンジーとビオラ、ポピーなどを植えました。来年のゴールデンウィークまで楽しめるそうです。

【お礼の言葉】 花を植える楽しさを味わいましたし、この道を通る楽しみができました。ありがとうございました。

非行防止教室(スマホ・ネット安全教室)

健康や安全に係わる授業は時代と共に変化し、学校や学年によって、内容にも特色があります。

三松小 1年生



1・5年生ともに、お話は都城警察署少年サポートセンター少年補導職員の皆さん

万引きで警察に呼ばれたたろう君と家族の物語を通して、きまりを守ることの大切さを学びました。

三松小 5年生



ゲームによる生活の乱れやメッセージのやり取りでのトラブルについて考え、対応を学びました。

小林小 6年生



四位先生

SNSに公開しても大丈夫かな?



バスケット楽しかった(^^)/

資料の提供は、
都城警察署

警察署の資料を基に先生が授業。話し合い活動とワークシートを通して、SNSを上手に使うためのポイントやトラブルの防止について学びました。

栗須小 緑の啓発活動(募金活動)

4年生


コープみやざき小林店



希望の店

募金のお礼です。苗をどうぞ

4年生全員が加入しているみどりの少年団の活動。募金は森林の保護などに役立てられ、ふるさとを愛し豊かな心をつくることも目的のひとつです。各グループに保護者が2、3名付き添い、百笑村と野尻庁舎でも大きな声で募金を呼びかけました。

「65年前、ボーイスカウトで募金活動をしました」と声をかけてきた方もいて、多くの人と触れ合う機会にもなりました。4年生は花壇の手入れや一人一鉢運動、森林体験なども行っています。

裏に続きます。

南小 モーモースクール

4年生



肩ロースとモモの見た目や味をくらべました。

JA宮崎経済連・JAこばやし・生産者による宮崎牛の授業です。DVDと説明、質問コーナーを通して、宮崎牛の出産から出荷・販売までを学ぶとともに、生産者に、仕事についてのお話を聞きました。

【お話より】 ◆ 宮崎で生まれ育ち、肉質の4等級以上を宮崎牛、3等級以下は和牛と呼びます。

◆ 育てた牛が肉になるのは悲しいですが、「命をいただく大切な仕事」だと思い、がんばっています。「良い牛ですね」と言われると嬉しいです。 ◆ 6時と午後3時に牛舎でえさをやり、午後6時に仕事を終えます。 ◆ 宮崎牛をたくさん食べて応援してください。

小林中 技術科 ～VR 体験～

2年生



登嶋健太(としまけんた)先生:東京大学先端科学技術研究センター

テーマは「VRを活用した最先端の福祉の可能性」。VR体験に加え、その仕組みや福祉への活用事例も学びました。代表生徒によるいろいろなアプリの体験もあり、物をつかんだり卓球をしたりする映像に、生徒たちは歓声を上げて見入っていました。

登嶋先生は、介護施設で職員として勤務する傍ら、要介護者へのVR回想旅行の提供や、高齢者の福祉を拡張するXR(クロスリアリティ)の研究を行っています。

細野小 鑑賞教室「ちいさな 秋のおはなし会」



大型パネル



劇「しりとりのだいすきなおうさま」

出演は読み聞かせサークル「ママーズ」と保護者の皆さん。読み聞かせの他に、国語の教科書に載っている作品名を当てるクイズやピアノ演奏もあり、子どもたちの笑顔が絶えない1時間でした。

永久津小 保育士体験

5年生



永久津保育園

こすもす科「わたしは保育士・私の夢」。保育士の体験を通して、自分の将来について考える授業です。10名の5年生が3つのグループに分かれ、事前に考えた内容に沿って、約2時間、園児たちと楽しく過ごしました。ドッジボールや縄跳び、鬼ごっこ、新聞紙を使った遊びなど、どのグループでも、子どもたちの元気な声が響いていました。

須木小 社会科見学「郷土をひらく」

3・4年生



説明は小林ガイドボランティア協会の皆さん



全長 31.5m 幅 3m 高さ 14m

「児玉源七郎水路開発記念碑」も見学しました。

子どもたちは、先人達の努力で今の生活があることを、熱心にメモを取りながら学んでいました。

◆ 昭和の初期、水がないために米が作れなかった野尻は貧しい農村でした。田丸貞重は野尻原用水路を、信時金之助は漆野原用水路(紙屋)を、私財を投じ、住民と協力して完成させました。

◆ 東方大丸太鼓橋は、薩摩の豪商、森山新蔵が私財を投じて完成させた県内最古の水路橋(県の有形文化財)

用水路の学習です。野尻庁舎で記念碑についての話を聞いた後、東方大丸太鼓橋を見学。須木のふるさとセンター近くにある

細野中 小林未来予想図

3年生



提案に対する改善案も出されました。

小林市の課題について、4つの班が解決策を提案し、質疑応答を通して課題に迫りました。それぞれのテーマは、空き家問題・少子高齢化・SNSの活用・ごみ問題です。宮原市長と市の職員4名も出席し、生徒たちの発表を、メモを取りながら熱心に聞いていました。市長は講評の中で、市の現状と方向性について分かりやすく説明してくださいました。

【生徒代表あいさつ】 私たちの提案が、将来の小林市に繋がっていくことを願っています。

この日は1年生の「13歳のハローワーク」も6名の講師を迎えて行われました。